



中国砚
端溪と歙州砚

西本皆文堂 

西本 昭一郎

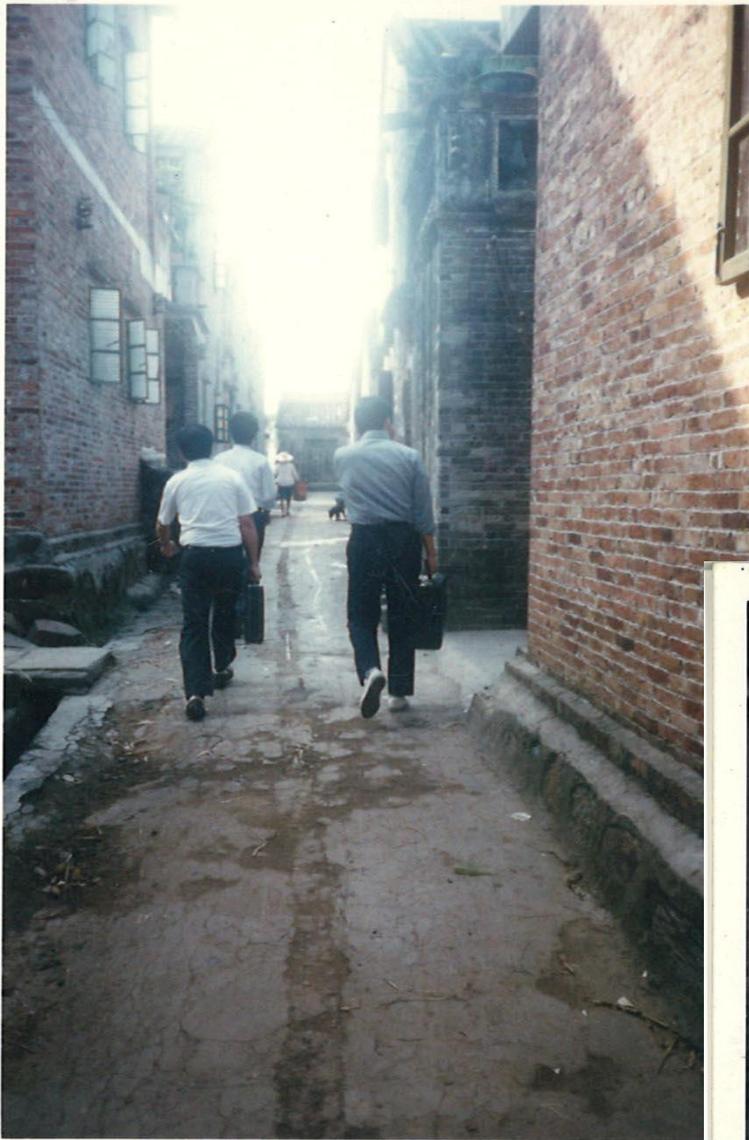


現在の交通手段

- 羽田⇒広州 飛行機 4時間
- 広州⇒肇慶 車 1.5時間
- 羽田⇒上海 飛行機 3時間
- 上海⇒歙州 車 8時間

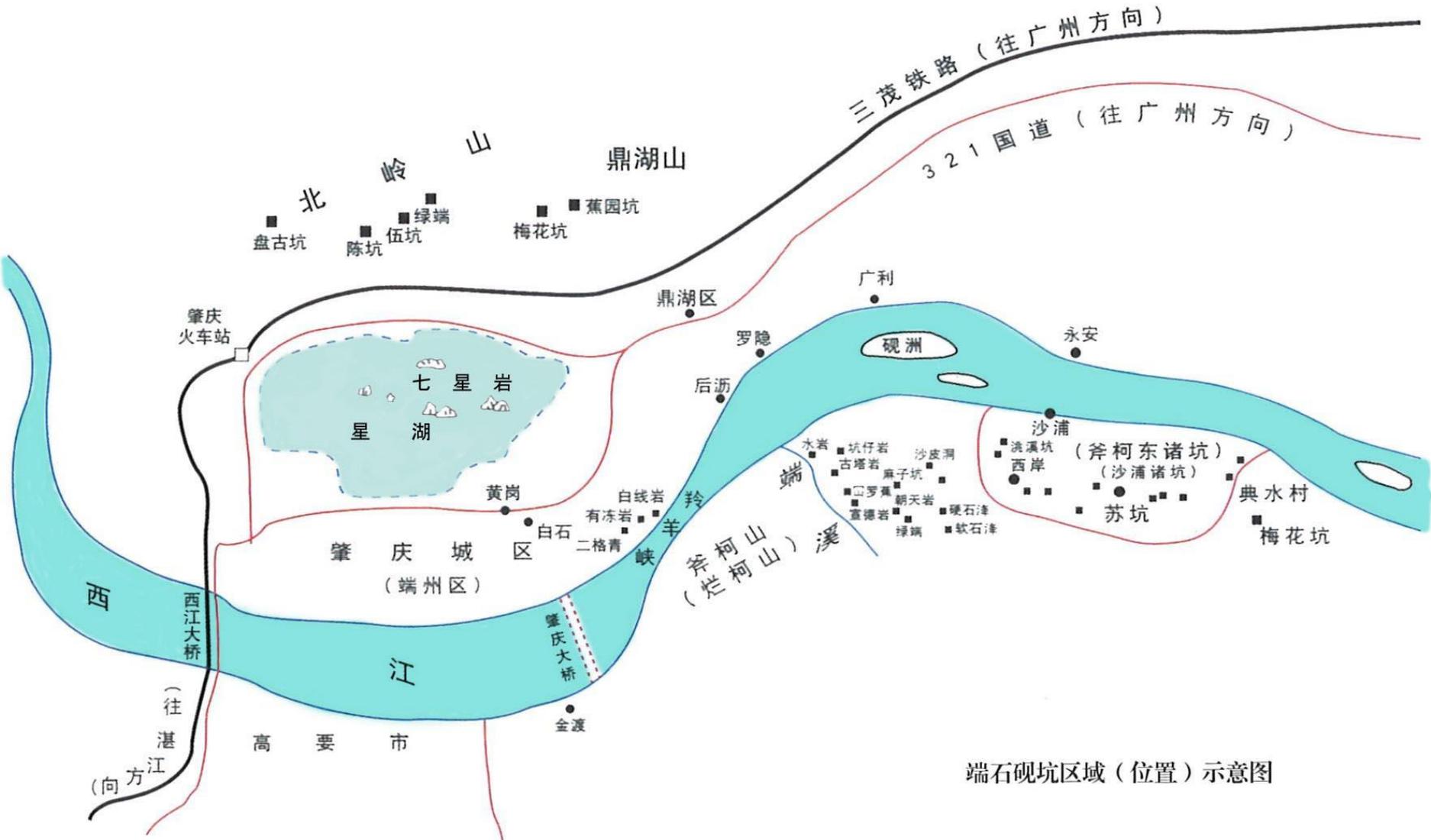


- 端溪の名前の由来・・・
小さな溪流(川幅約3m程)

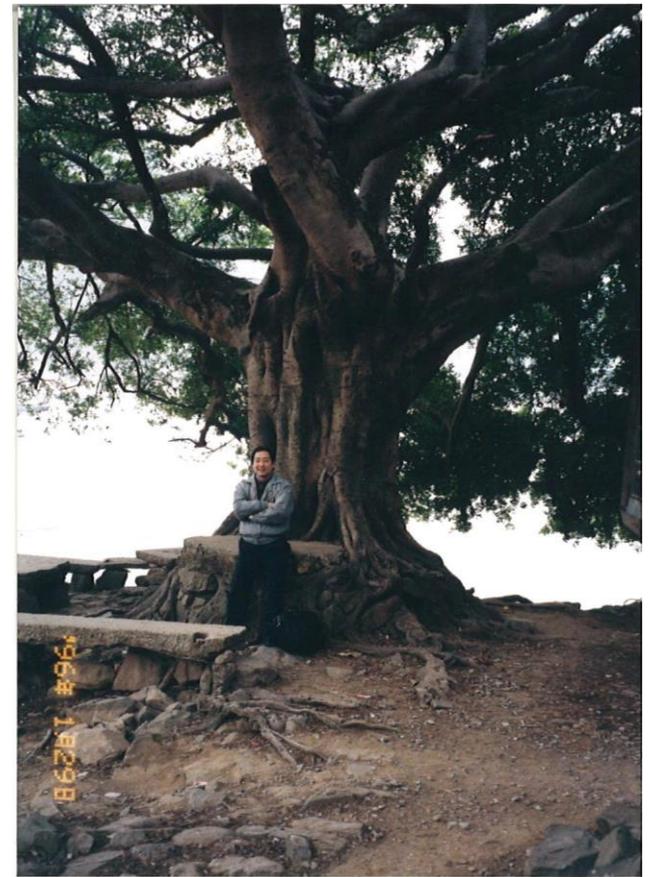
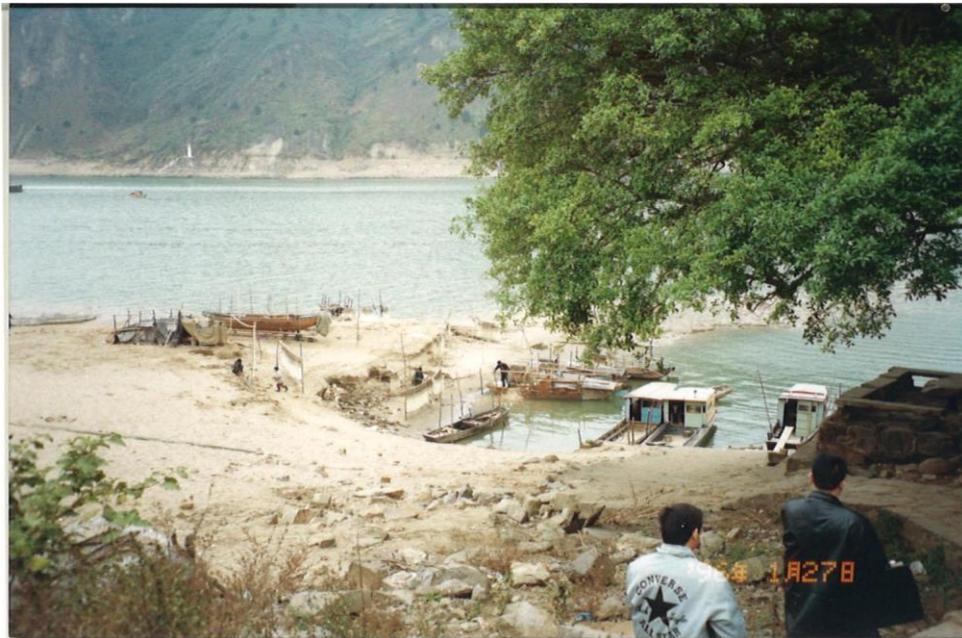


■ 1990年代初頭

端砚：鉴别与收藏



端石砚坑区域（位置）示意图



■ 1000年前に蘇軾(蘇東坡)が腰かけたという伝説のガジュマロの大木

■ 老坑へ行く渡し船の船付き場



■ 老坑、坑仔岩石工区看板



■ 砚材の積み込み



■ 老坑旧坑口

坑仔岩坑



老坑新坑道



■ 硯材用のトロッコ。人間は乗車禁止

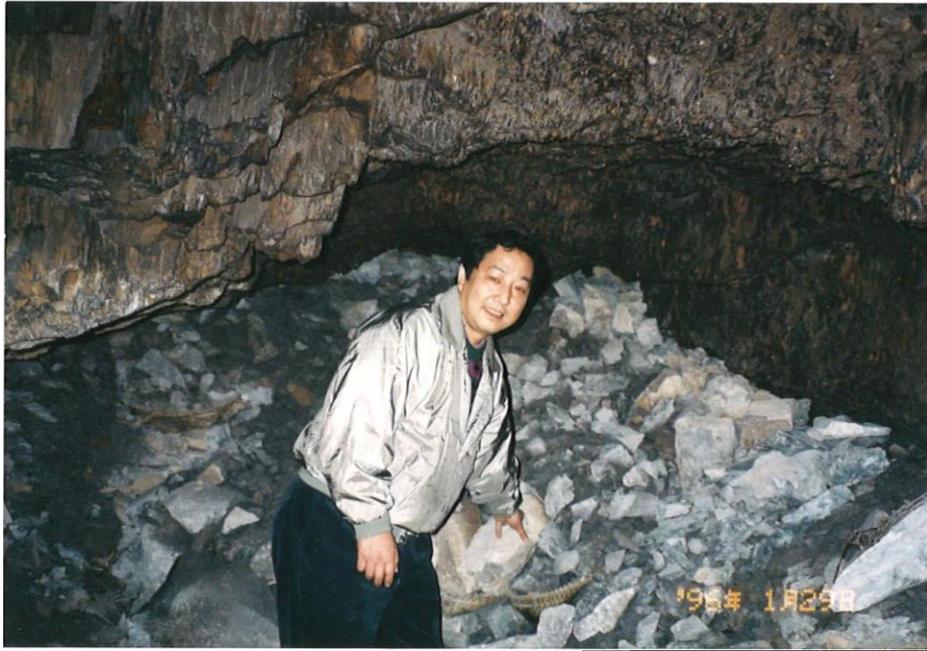
■ 32° の傾斜 約100m位





■ 作業はタガネとハンマー
硯にならない部分をカット





■ 大西洞跡と水帰洞

石クズで埋まって
ここでは採石終了



■ 大西洞の下部
水帰洞の下



■ 老坑原石

但し、硯になる部分は10%~15%位

■ 老坑の破片の採取

昔の人はこれを子石と言ったかも

